

平成２６年度安城市行政評価報告書に対する取組方針（概要）

１ 平成２６年度から対応する内容

- （１）読書活動推進事業（No.1）
例年どおりブックスタートと読み聞かせボランティア養成講座を開催しました。年度後半ではワークショップを開催し、市民協働の推進となるものにしていきます。
- （２）ＩＣＴ推進事業（No.2）
地区公民館等に導入する公衆無線ＬＡＮシステムの調査・研究を行います。また、システム構築のために対象施設管理者との協議を行います。
- （３）商工業共同事業等補助事業（No.3）
現在の事業のあり方を先進、成功事例を参考に施策を検討します。
- （４）エコサイクルシティ協働推進事業（No.4）
計画推進のため、安全快適に利用できる自転車走行空間整備のための調査委託を実施しています。また、来年度以降も引き続き自転車走行空間ネットワーク構築のため、他の路線についても整備に向けた予算要求を行います。
- （５）少人数学級推進事業（No.5）
児童数の増減によって学習の達成度が変化するかを指導要録の評価等から検証します。また、学校生活習慣の定着に関して、欠席率や生活記録等から検証します。
- （６）公民館施設管理事業（No.6）
地域との交流及び連携を図るため、第３次生涯学習推進計画に主要施策として地域主体による公民館活動を推進することを盛り込みます。
- （７）休日夜間急病診療事業（No.7）
市民への周知を図るため、病院と連携して広報折り込み広告を作成し、９月に全戸配布しました。

２ 平成２７年度以降で対応予定の内容

- （予算額は議会予算審議前の金額であるため、今後変更される場合があります。）
- （１）読書活動推進事業（No.1）
図書情報館での活動を見据えた市民との協働を進める指針を作成します。
H27 予算額
（仮称）図書情報館整備事業
報償費 ワークショップ・セミナー・読書会・講座開催 1,000 千円
 - （２）ＩＣＴ推進事業（No.2）
平成２７年度に災害時において避難所となる地区公民館（１１館）や市役所本庁舎等に公衆無線ＬＡＮ環境を構築する予定です。
H27 予算額
使用料及び賃借料 公衆無線ＬＡＮサービス基盤利用 11,823 千円
 - （３）商工業共同事業等補助事業（No.3）
効果ある施策については、事業化に向け予算要求していきます。
 - （４）エコサイクルシティ協働推進事業（No.4）
市道大東住吉線整備後のアンケート結果で、自転車利用促進のために最も効果的な手法は自転車走行空間の整備であったため、積極的に整備を進めます。整備後の評価・検証は、広く市民の意見を取り入れるよう検討していきます。また、自転車購入補助制度の見直し検討を行ないます。
H27 予算額
委託料 自転車ネットワーク整備調査業務 6,600 千円
 - （５）少人数学級推進事業（No.5）
平成２７年度以降も児童数の増減によって、学習の達成度が変化するかを指導要録の評価等から検証します。また、学校生活習慣の定着に関して欠席率や生活記録等から検証も継続的に行い、経年変化を分析します。
 - （６）公民館施設管理事業（No.6）
地区公民館の運営計画を策定するため、調査・研究を行います。また、地域住民の参加により当該運営計画を策定し、モデル事業を実施します。
 - （７）休日夜間急病診療事業（No.7）
市民への周知のため、引き続き病院と連携した啓発を考えていきます。特に学生・生徒・幼児の保護者向けのチラシを常用してもらえるものにしていきます。

平成26年度安城市行政評価報告書に対する取組方針

事業 番号	課名	事務事業名	行政評価委員会の指摘事項	平成26年度から対応する内容	平成27年度以降で 対応予定の内容
1	中央図書館	読書活動推進事業	・職員と市民ボランティアの分担を検討し、市民ボランティアが十分に活動する体制づくりやしくみづくりを計画的に行い、市民協働を進めていただきたい。	例年どおりブックスタートと読み聞かせボランティア養成講座を開催した。年度後半ではワークショップを開催するが市民協働の推進となるものとして。	図書情報館での活動を見据えた、市民との協働を進める指針を作成する。 H27 予算額 (仮称)図書情報館整備事業 報償費 ワークショップ・セミナー・ 読書会・講座開催 1,000千円
			・図書館の利用を高め、読書により親しみを持たせるためにも、就学後の子ども、父親またその他の保護者、シニア、障害者、外国籍者など対象を広げ、広く市民のニーズを把握するよう検討していただきたい。	「お母さんのための絵本講座」を「こどもと絵本を楽しもう」に名称を変更して開催しており、祖父母の参加が17%ある。	乳幼児だけでなく、さまざまな市民が参加でき読書のきっかけとなる講座、行事等を開催していく。 H27 予算額 報償費 各種講座・講演開催 398千円
			・図書情報館も含めた中・長期的な展開を検討していただきたい。	中・長期的な計画の必要性の認識と周知をした。	子ども読書推進計画の見直しをする。

事業 番号	課名	事務事業名	行政評価委員会の指摘事項	平成26年度から対応する内容	平成27年度以降で 対応予定の内容
2	情報システム課	ICT推進事業	・ICTのCIについて、コミュニケーションツールとしての利用可能性を検討していただきたい。	地区公民館等に導入する公衆無線LANシステムの調査・研究。 構築のために対象施設管理者との協議を行う。	平成27年度に、災害時、避難所となる地区公民館(11館)や市役所本庁舎等に公衆無線LAN環境を構築する予定である。 H27予算額 使用料及び賃借料 公衆無線LANサービス基盤利用 11,823千円
			・オープンデータやSNS利用などについて、市民や事業者を積極的に巻き込み、市民と共に事業を進めていただきたい。	手はじめとして、オープンデータについては、既にHP上に公開されているデータの調査を行なう。 SNSについては、地域ポータルサイトである「あんみつ」を「プッシュ型」サイトに位置付け、安城市のHP「望遠郷」と補完しあいながら情報を発信している。	オープンデータについては、既存の公開済みデータから順次オープンデータに準拠した形式にデータ変換を行い公開。公開に際しては、データの内容を精査し個人情報保護を徹底する。 また、新たに公開するデータについては、オープンデータに準拠した形式とする。 「あんみつ」については、継続し利用していく。
			・セキュリティと両立する方針・ルールを策定し提示していただきたい。	システム調達指針に定める「システム開発業務委託契約書」に、個人情報保護や再委託を禁止する条項を定め、セキュリティの確保に努めている。	特別な理由があり、委託者が承認した場合は、再委託を認めていることから、個人情報保護の遵守状況やよりセキュリティが確保できるよう、状況に応じた条項の見直しを行なう。
			・平常時と災害時とを区別した対応を他部署と連携し検討していただきたい。	秘書課広報広聴係が管理する「フェイスブック」「ツイッター」、危機管理課が提供する防災データとの連携方法を検討する。	職員に対し、安城密着コミュニティサイト「あんみつ」活用ガイドラインの周知を図るとともに、「フェイスブック」「ツイッター」についても利用方法を周知する。 防災データの掲載に際しては、災害対策本部の発表を正しく公表する。

事業 番号	課名	事務事業名	行政評価委員会の指摘事項	平成26年度から対応する内容	平成27年度以降で 対応予定の内容
3	商工課	商工業共同事業等 補助事業	・規約の中で特定の政治団体やまちづくり会 社への支援が可能とあり、非常に分かりにく く、社会通念上問題があるように感じられる ため、見直しをお願いしたい。	要綱を精査し、必要に応じて改正して いく。	
			・今後は、市民参加と市民協働の視点を取り 入れ、セタはもちろんのこと、サンクスフェス ティバル、ごち天、きーぼ一市にも、あるい は、三河安城駅、桜井駅、新安城駅などの周 辺の活性化にも効果を発揮できる補助金制 度としていただきたい。	商工業共同事業等補助事業は市内 全域の商店街等が補助対象であり、 事業への市民参加も盛んである。こ れまで以上に市民参加や市民協働を 取り入れるよう働きかけていく。	
			・将来的には、補助金ありきの商店街活性化 では今以上の発展は望めないと思われる。 商店街自らが自立し活性化する支援方法を 考えることが重要であり、安城市全体を活性 化する事業として現在の事業のあり方を見直 すことも必要ではないかと思われる。	先進、成功事例を参考に施策を検討 する。	効果ある施策については、事業化に向け予算要 求する。
4	都市計画課	エコサイクルシティ 協働推進事業	・この計画はメタボによる医療費増の抑制や コンパクトシティなど、今後のまちのありようを 決める重要な計画であると思う。そのために は安全快適に自転車が使えよう、市民安 全課、土木課など関係部署との連携で施策 を行い、PDCAサイクルの検証を市民とともに 行うという仕組みが必要と考える。	計画推進のため、安全快適に利用で きる自転車走行空間整備のための調 査委託を実施中。また、来年度以降 も引き続き自転車走行空間ネット ワーク構築のため、他の路線につい ても整備に向けた予算要求を行う。	市道大東住吉線整備後のアンケート結果で、自 転車利用促進のために最も効果的な手法は自 転車走行空間の整備であったため、積極的に整 備を進める。整備後の評価・検証は広く市民の 意見を取り入れるよう検討していく。また、自転 車購入補助制度の見直し検討を行なう。 H27予算額 委託料 自転車ネットワーク整備調査 業務 6,600千円

事業 番号	課名	事務事業名	行政評価委員会の指摘事項	平成26年度から対応する内容	平成27年度以降で 対応予定の内容
5	学校教育課	少人数学級推進事業	・効果を定量的に捉えることが難しいのは理解できるが、客観的なデータがなくて良いということにはならない。即効性がないからこそ丹念なデータの蓄積が重要である。継続的なデータ取りと的確な評価軸を持つことにより、先進的な事業を今後に活かしていただきたい。	児童数の増減によって、学習の達成度に変化するかを指導要録の評価等から検証する。また、学校生活習慣の定着に関して欠席率や生活記録等から検証する。	同様の検証を継続的に行い、経年変化を分析する。
			・効果とともに、生徒側と教員側のメリット・デメリットを把握するよう努めていただきたい。	該当学年の児童、保護者、担当教員などを対象としたアンケートをとる。	該当児童、保護者、教員のアンケート結果を数値化し、利点と課題について把握する。 H27予算額 少人数学級推進事業 97,645千円
6	生涯学習課	公民館施設管理事業	・災害時の拠点的な避難所としての施設であることについて他部署と連携をとること。また市民に対しPRIに努めていただきたい。	危機管理課を交え、公民館避難所の位置付けと関連部署を確認するとともに、公民館避難所に係る効果的なPRの方法を検討する。	継続的にPRを実施する。
			・地域と行政との交流の最前線として、市民また市民団体との協働を進めていただきたい。 ・地区内の町内会公民館と連携して災害対応など地域の問題解決を図る仕組みづくりを検討していただきたい。	地域との交流及び連携を図るため、第3次生涯学習推進計画に、主要施策として地域主体による公民館活動を推進することを盛り込む。	地区公民館の運営計画を策定するため、調査・研究を行う。 地域住民の参加により当該運営計画を策定し、モデル事業を実施する。

事業 番号	課名	事務事業名	行政評価委員会の指摘事項	平成26年度から対応する内容	平成27年度以降で 対応予定の内容
7	健康推進課	休日夜間急病診療 事業	・市民への広報を工夫し、周知を図ること。	病院と連携して、広報折り込み広告 を作成して全戸配布した(9月実施)。	引き続き病院と連携した啓発を考える(学生・生 徒・幼児の保護者向けのチラシを常用してもらえ るものにする)。
			・一次～三次の救急区分とともに、体制の連 携を継続すること。	運営協議会等の場において、二次、 三次病院と協議を行っている。	引き続き運営協議会等の場を利用して、互いの 意思疎通を図り、体制の連携を維持する。
			・現状の分析を継続して行うとともに、柔軟な 取り組み、対応をお願いしたい。	毎月の診療実績を医師会に連絡し て、状況の把握と共有に努め、状況 に柔軟に対応できるようにしている。	現在の連絡体制等を維持するとともに、予定され る保健センターの改修にあたっては、医師会、歯 科医師会、薬剤師会と協議して、可能な範囲で 社会ニーズに対応するような改修を行う。